

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具、什器備品・・・定率法によっている。

建物、建物付属設備、構築物（平成28年4月1日以降取得）・・・定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

会館取壊引当金・・・賃借している土地の返還に伴う、建物の撤去費用として計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等に係る会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	11,918,400	1,185,300	0	13,103,700
会館取壊引当資産	27,700,000	0	20,000,000	7,700,000
消防大会事業基金	5,400,000	0	600,000	4,800,000
慰霊祭事業基金	700,000	0	100,000	600,000
周年事業基金	3,800,000	0	3,800,000	0
減価償却引当資産	3,679,251	924,937	0	4,604,188
コロナ対策事業	941,220	0	0	941,220
小計	54,138,871	2,110,237	24,500,000	31,749,108
合計	64,138,871	2,110,237	24,500,000	41,749,108

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	—	10,000,000	—
小計	10,000,000	—	10,000,000	—
特定資産				
退職給付引当預金	13,103,700	—	13,103,700	—
会館取壊引当資産	7,700,000	—	7,700,000	—
消防大会事業基金	4,800,000	—	4,800,000	—
慰霊祭事業基金	600,000	—	600,000	—
減価償却引当資産	4,604,188	—	4,604,188	—
コロナ対策事業	941,220	—	941,220	—
小計	31,749,108	—	31,749,108	—
合計	41,749,108	—	41,749,108	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	32,818,093	20,209,407	12,608,686
建物附属設備	39,465,796	26,687,223	12,778,573
構築物	409,500	409,492	8
車両運搬具	2,198,657	2,198,652	5
什器備品	8,355,811	2,815,939	5,539,872
一括償却資産	1,358,758	452,919	905,839
合計	84,606,615	52,773,632	31,832,983

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金 県補助金	福島県	—	1,500,000	1,500,000	—	一般正味財産
小計		—	1,500,000	1,500,000	—	—
合計		—	1,500,000	1,500,000	—	